

さいたま市長 5月定例記者会見

平成27年5月21日（木曜日）

午後1時30分開会

- 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。  
それでは、記者クラブ幹事社の共同通信社さん、進行をよろしく願い  
いたします。
- 共同通信 5月の幹事社を務めます共同通信と申します。よろしく申し上げます。  
それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長からご説明をお願い  
いたします。
- 市 長 皆さん、こんにちは。  
ゴールデンウイークを過ぎ、夏を思わせるような暑い日が続いておりま  
すが、いかがお過ごしでしょうか。  
さいたま市では、たくさんのイベントが行われており、私は先週末、満  
開のバラの花が咲き誇る与野公園で開催されましたバラまつりに行ってき  
ました。色とりどりのバラが皆さんをお待ちしておりますので、ご鑑賞に  
お出かけいただければと思います。  
また、今週末にも大宮薪能、浦和うなぎまつり、鉄道のまち大宮 鉄道  
ふれあいフェアなど、楽しいイベントが開催されます。ご家族やご友人と  
一緒にお楽しみいただきたいと思います。  
なお、ことしは5月とは思えないくらい暑い日が続いております。念の  
ため熱中症には十分ご注意ください。

**市長発表：議題 さいたま市地域ポータルサイト  
「ヌウストゥデイ」をオープンします**

それでは、本日の議題に入らせていただきます。本日の議題は、さいた  
ま市地域ポータルサイト「ヌウストゥデイをオープンします」についてご  
説明をさせていただきます。

さいたま市地域ポータルサイト、愛称ヌウストゥデイが本日午後4時に  
オープンをいたします。これがトップページになります。このヌウストゥ  
デイは、地域を盛り上げようと活躍している団体等の情報を集約した、シ

ティセールスのためのサイトです。サイトを閲覧した市民が市の魅力を認識をし、市外の方に市の盛り上がりやPRすることで、本市の認知度の向上や訪問人口の増加を目指します。市民や事業者からの積極的な情報発信によって、すぐれた地域資源に気づき、地域での交流促進や活性化、特色ある事業機会の創出などを促す場として提供するものであります。さらに、このサイトでスポーツ、文化など、さまざまな分野で活動している市内グループ同士がお互いの活動を知り、交流するきっかけとし、新たな交流や活動が生まれてくることも期待をしております。

次に、メインコンテンツでありますけれども、市内のイベント情報、市民広場、特集ページから構成をしております。各コンテンツについては後ほど説明してまいります。

次に、カテゴリについて説明をいたします。サイトに登録をした市民グループは、みずから発信した情報を閲覧者が検索しやすくなるように、具体的なカテゴリに分類して記事を掲載できるようにしてまいります。

例えばここをクリックしますと、遊ぶ、食べる、暮らす、それから学ぶ、働く、イベント、また観光、スポーツ、文化、ショッピングなどがあります。また、10区ごとに情報を登録することで場所で検索ができるようにしてまいります。

今後発信していきたい記事を紹介いたします。例えばイベントの一つの例として、大宮駅周辺で行われました「第8回アートフルゆめまつり」を掲載しております。このイベントは、参加者全員が実行委員となり、準備から当日の運営までを市民手づくりで進めてまいります。さいたま市民の活発な活動として紹介をさせていただきます。

例えば地域情報の一つとして、「まっふる浦和レッズ」という応援ガイドブックを制作した話題を掲載しております。このガイドブックは、浦和レッズをより知っていただく機会となることはもちろん、浦和という地域を知っていただく上でも大変貴重な機会になるものですので、紹介をさせていただきます。

次に、食の情報として、浦和最大の地域活性フード&カクテルイベントとして行われております第「15回浦和飲食フェスタ」を掲載しております。このイベントは、浦和を中心に、大宮や上尾、赤羽、高崎などから飲

食店が出店し、子供も参加できる職業体験ブース、ステージイベントなど、内容が盛りだくさんとなっております。市外からも遊びに来ていただける食のイベントとして紹介させていただいております。このように、地域活性化につながる活動は、営利、非営利問わず掲載していきたいと考えております。

続いて、市民ひろばでありますけれども、市民ひろばとは、登録グループ同士で交流できる、サイト内における仮想の広場であります。サイト内で登録グループ同士が意見交換、また情報交換できる機能を設けております。特集ページは、バナーを設置しています。今は、ダイヤモンドユカイさんを起用して製作いたしました市のPR動画を載せておりますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

このサイトは、情報を収集したいと思う方と発信したいと思っている方とのマッチングの場であります。今後市民グループの登録数や情報量を増やしていかなければなりません。登録したグループ等が集えるイベントや新たな活動が生まれる仕掛けづくりなど、サイトが活発化するためのソフト事業についても実施をしていく予定であります。ぜひこのサイトを活用いただき、みずからの情報を発信するなど、地域の盛り上げにご協力をいただき、市民とともにシティセールスを進めていきたいと考えております。

私からは以上です。

○ 共同通信

市長からの説明について、質問がある社はお願いします。

**幹事社質問：大阪都構想についての住民投票の結果を受けての所感**

先日大阪都構想の是非を問う住民投票が行われました。それで、僅差で否決されたわけですがけれども、それについて改めて市長のご所感を願っています。

○ 市長

幹事社質問にお答えしたいと思います。

大阪都構想についての住民投票の結果を受けての所感ということですが、今回非常に投票率も高く、たくさんの方が関心を持ってみずから投票に出向いた点、また大阪に限らず、大都市制度というものについて全国的に盛んに議論されたという点では大変意義があったと考えてお

ります。

本市としては、指定都市市長会などでこの大都市制度のあり方について現在いろいろ議論を行っているところであります。それぞれの地域の実情に応じた大都市制度が構築されていくべきと考えております。大阪都構想は、その大都市制度のあり方の一つと考えているところであります。

私からは以上です。

## 幹事社質問に対する質問

- 共同通信      先ほどの説明の内容とあわせて、何か質問がある社はお願いします。
- 埼玉新聞      埼玉新聞と申します。  
  
大阪都構想ということで盛んに議論されたところが意義があるということでおっしゃっていましたが、否決という結果についてはどのような所感をお持ちでしょうか。
- 市 長      この投票結果ということについては、それぞれその住民が決めることであると思いますので、大阪都構想については、大阪市民の皆さんがいろいろな形で考え、そして投票所に行き、みずからの意思を表明した結果と考えておりますので、その結果としてはしっかり受けとめる必要があるのではないかと考えております。
- 埼玉新聞      それから、こういった政令市と都道府県との関係で二重行政になるのではないかと。それは今回に限らず前から言われていることで、今回そういったことも議論の争点になり、そういうところで無駄を省くためにということで大阪都をつくろうということだったと思うのですが、推進する側の意見だったと思うのですが、さいたま市と県との関係で、二重行政の解消等についていろいろ会議等もやっていますが、今後例えばこういった問題提起を受けて、こういうふうにしていきたいとか、より改善するために考えていらっしゃるものがあれば教えてください。
- 市 長      県と政令指定都市との間に二重行政があるのではないかというお話でありますけれども、基本的に私たちとしては、二重行政的なサービスの重複する部分があるというようなことは感じております。3年前だったか、4年前だったか、県と市の企画調整会議というもの、これを全国でもかなり早くスタートさせていただいて、県と市が似通ってやっているような事業に

ついて、どういうふうに関割分担ができるのか、あるいはそういった二重行政的なサービスになっていないかということで議論をしたり、あるいは関割分担をしたり、あるいは両方が協力をし合うことで、より効果的に、また効率的な政策になっていくのではないかということで、かなり議論をして、そしてそれぞれ具体的なテーマごとにやってきて、その都度そういう形にならないようにということで解消し続けてきたという経緯があると思っております。これまでもかなり解消できた部分もあろうかと思っておりますけれども、今後とも市民の皆様から見える部分であるとか、あるいは行政として、二重行政的になっているものについては、県と市とでしっかり関割分担をしていくという議論の場がこれは法定にもなりましたので、そういったところを受けながらしっかりと協議をして、解決をしていきたいと思っております。

また、今回の大阪都構想等も含めて、現状としては、県と市の関係だけを議論されているように思いますが、本質的には国からの権限移譲ということがより必要だろうと考えておりますので、単に県と市の関割分担というだけではなくて、今後私たちとしては、基本的には住民から最も近い基礎自治体がしっかりと自立的に行政を運営していくと。基礎自治体ができない部分は、県を含めた広域自治体がそれをサポートしていくと。さらに、そういった広域自治体だけではできないところを国、あるいは国として独自にしっかりやっていかなければいけないテーマについては国がやるという、そういう考え方の中でしっかりこの大都市制度のあり方、あるいは地方創生も含めて今後とも検討し、また県や、あるいは国に対してもしっかりと提案提言などもしていきたいと思っております。

## その他：埼玉県知事選挙について

- 朝日新聞 朝日新聞です。  
今度知事選が行われますけれども、自民党県連が順天堂の天野さんに擁立を働きかけるということを発表しましたが、その点については清水さんはどう思われますでしょうか。
- 市長 現時点では、擁立をする方向で進んでいるというお話だろうと思っておりますので、その点について何か特別コメントをする点はないと。現時点ではま

だコメントする段階ではないと考えております。

- 朝日新聞 関連して、上田知事が4選に出馬するかどうか、まだそれを発表されておられませんけれども、その点については市長の見解どうでしょうか。
- 市長 これも現時点ではまだ仮定の話ですので、なかなかコメントがしづらいところがあると思いますけれども、上田知事も多選自粛条例という条例をつくられてきたという経緯もありますので、その自粛をされているとも聞いておりますし、またその中で、これまで上田知事がやってこられた実績といたしますか、行政的な成果ということについては、これは多くの皆さんが認めているということでもあろうかと思っておりますけれども、その中で知事がどう判断されるかというのは上田知事のお考えだろうと思っておりますので、今のところ私たちはそれについて現時点では意思表示は何もしていない段階ですので、こうしたほうがいい、ああしたほうがいいということは私自身は考えておりません。
- 朝日新聞 県内の町村会では、市長に出馬を促すことをされているんですが、今後市長会とか、あとさいたま市の清水市長として上田さんに出馬を促すというふうなお考えはありますでしょうか。
- 市長 現時点としては、そういう具体的なことは特には考えておりません。
- 朝日新聞 今後は何か考えていくとか、進んでいったら出馬を促すということを考えていくとかいうお考えはあるのでしょうか。
- 市長 現時点では考えておりません。

### 幹事社質問に対する質問

- 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。  
ちょっと質問が戻ってしまうのですが、大阪都構想否決を受けてというか、横浜市のエリ市長は特別自治市の早期実現を目指すということでコメントを公表されていますけれども、国以外の仕事を県でなくて市が全て担当するという事柄ですので、特別自治市の構想について、さいたま市のほうで何か検討されることですか、市長は考えていらっしゃることはございますでしょうか。
- 市長 さいたま市としては、これまでも横浜市等の一部の政令指定都市の皆さんと一緒に特別自治市のあり方について研究会を持って議論してきたり、

あるいは政令指定都市市長会の中でそういった議論をずっとやってきているところでもあります。現時点でもそういう意味ではやっている最中とも言えると思いますけれども、その中で私たちは将来的には特別自治市ということを目指して実現をしていきたいと考えております。一つはやはり今後県と市の関係だけではなくて、国からどういう権限を移譲していただくかということがやはりセットで議論されていかなければいけないだろうと考えております。ですので、今は例えばふるさとハローワークについて、これは今都道府県では埼玉県と佐賀県がモデル事業でやられております。それから、政令指定都市では、各区役所などに就労支援員などを置かせていただき、就業情報について情報提供をしながら進めていくという取り組み、これはどこの政令都市でも効果を上げてあるということがありますので、基礎自治体がやったほうがより効果が高いと思われる事業について、もう少ししっかりと、また細かい部分も含めて議論をしていきながら、まずは国から権限移譲していただく部分と、特別自治市は広域的な自治体としての役割も果たすという制度でありますけれども、これも若干地域によって考え方が違っているというところもありますので、さいたま市としてはさいたま市なりの特別市のあり方ということを今後も検討していきたいと考えております。

- 埼玉新聞 将来的には実施していきたいというお考えということですのでよろしいのでしょうか。
- 市長 そうですね。
- 埼玉新聞 わかりました。ありがとうございます。

### その他：さいたま国際マラソンについて

- 読売新聞 読売新聞です。  
さいたま国際マラソンについて何点かお尋ねします。あさってから定員4,500人の国内外の市民ランナーを対象とするいわゆる一般枠の応募が始まります。その前段として、市民枠と県民枠の応募が終わりましたけれども、いずれも短時間で定員に達すると。非常に出だしとしてはよかったのかなと思うんですが、その市民枠と県民枠が非常に短時間で定員に達したということを受けて、まず市長の受けとめと、比較的早く埋まった要

因、どのあたりにあると考えていらっしゃるか、教えていただきたいと思っています。

○ 市長      それでは、さいたま国際マラソンについてのご質問にお答えしたいと思います。

まず、5月9日からさいたま市民優先枠250人のエントリーを開始しましたがけれども、開始後わずか4分で定員に達しました。また、翌週の16日には埼玉県民優先枠の募集も開始しましたが、同じく4分ほどで定員に達しました。この2つについては、やはりさいたま市民、また埼玉県民の本大会に対する関心が非常に高いということがうかがえるものと考えておまして、やはり埼玉県初の(国際)フルマラソンということもございますし、やはりリオデジャネイロの代表選考が行われる、そういう国際的なレースと同時に開催されるということも相まって、大変多くの皆さんが関心を持っていただき、また参加をしたいということで、こうして応募をいただいていると考えております。

あさってから一般枠の募集も始まりますので、さいたま市民、また埼玉県民はもちろんでありますけれども、全国の皆さんにもぜひエントリーをいただければと思っております。

○ 読売新聞      関連でもう一点伺います。今大会に関しては、一般のいわゆるサブフォー、4時間制限というふうに設けられておまして、市長は先日ラフレであった記者会見の際も、できるだけもう少し時間的な制限を緩くして、大会の規模を拡大させたいというような意向についてもお話をされていたかと思うんですが、まだ第1回大会が終わっていない段階で恐縮ですが、非常に定員としてはもっと増やせるのかなと。短時間で埋まったということも考えると思うんですが、定員を増やす上で、あと時間的な制限を少し緩和していく上で、今後の課題となっていくものはどんなことがあるというふうに考えていらっしゃるか、現時点での見解で結構ですので教えてください。

○ 市長      その記者会見のときにもお話ししたとおり、私としてはできれば次の大会をぜひ4時間以上にと。4時間ですと、相当練習をして、早い方でないといけないというタイムになりますので、できるだけ初心者、あるいはこれからフルマラソンをやろうと目指す方にとっても開かれた大会であってほしいと考えておまして、そういう意味では、今東京マラソンなどでも6時間、

7時間というような枠というか、その制限でやられたりもしておりますので、やはりできるだけ制限時間を、そのぐらいにできればという思いは持っております。

ただ、今回は準備までが極めて短期間であったということと、あと埼玉県内で初めての(国際)フルマラソンの開催ということもあって、市民への周知であるとか、あるいはこのフルマラソンへの影響というのがまだ十分につかみ切れないというようなところもあるかと思いますので、この1回目の大会でそういったものを十分検証していけるという部分もあるかと思えますし、またより一層市民の皆さんにもご理解をいただけたという状況になってくるのではないかと考えておりますので、そういったいろいろな課題をクリアしながら、ぜひ2回目はそういった制限時間をもう少し緩やかにしたもの、あるいは今までずっとハーフを走っていた市民の皆さんもおりますので、ハーフあるいは10キロ程度の種目も増やせるように、より多くの市民の皆さんが参加しやすい、また参加したいと思えるチャンスをつくれる大会にぜひしていきたいと思えます。

- 読売新聞      ありがとうございます。

### その他：ドローン規制について

- テレビ埼玉      テレビ埼玉です。

ドローンについてなんですけれども、規制が国の議論が始まっているかと思うんですが、県のほうでもドローンの規制を呼びかけたというふうには報道が出ましたが、さいたま市のほうでは何かドローンに対する規制、対策というのは考えていらっしゃるのでしょうか。

- 市長      ドローンにつきましては、現在も都市公園内において模型飛行機あるいはヘリコプター等を利用されている利用者がいた場合においては、周囲に他の利用者がいる場合や、小規模な公園で利用しているなど、他の利用者の安全面から問題がある場合には、その都度指導を行ってきたところでありまして、今後もこのドローンの利用については、やはり公園内における危険行為に該当すると考えておりますので、さいたま市都市公園条例第4条第9号に都市公園の管理に支障がある行為をすることを行為の禁止事項として定めていることから、ドローンの利用に限らず、公園内における危険行為が公

園の安全管理上、支障を来たす行為であると認められる場合には、当該条例に基づく禁止事項として、利用者に対しての利用の中止を求めていきたいと思いをします。

また、周知については、今後公園の指定管理者と協議の上、利用者にわかりやすい方法で周知をしていきたいと考えております。

### その他：東日本連携・創生フォーラムさいたまについて

- テレビ埼玉 続けてで済みません。テレビ埼玉です。  
北陸新幹線の関連なんですけれども、沿線の首長会議が行われるということなんです、まだ先の話なんですけれども、この会議に向けて話し合うべき課題というのはどういうところにあると市長は考えていらっしゃいますか。
- 市長 今回このフォーラム、今は準備を進めているところであります。これまでもさいたま市としては東北とか上越の各都市と販路の開拓とか、あるいは農商工連携などを広域的に取り組んできたのですけれども、やはり国という地方創生を含めて、今後人口減少社会、あるいは東京にどうしても集中しがちなこの状況を打破していくためには、やはりそういったそれぞれの地域がもっと連携を強化していくことによって、お互いのウイン・ウインの関係づくりができるんじゃないかと考えておまして、今回はそういう意味では、そういった東日本、新幹線でそれぞれつながっている地域の首長さんたち、あるいは商工会議所さんをはじめ、民間の団体などにも入っていただいて、そしてどういう形で今後連携を強化することができるかということについて議論をし、できれば単発で終わるものではなくて、継続的に取り組みをしていけるものと考えております。

### その他：生活困窮者の宿泊所について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。  
17日の日に川崎市で簡易宿泊所の火災があつて、あの時点で8の方が亡くなったということで、まだ犠牲者が増えるという可能性もあると聞いています。さいたま市が19、20日と、この火災を受けて特別査察を行ったということですが、その結果はどうなっていますでしょうか。

○ 市 長 後ほどまた詳細な資料をお配りさせていただくことになると思いますけれども、さいたま市内には、いわゆる簡易宿泊所となっているものが3施設ございます。大宮区が2施設、そして岩槻区が1施設であります。

これらは両方とも、いわゆるビジネスホテルとかカプセルホテルと言われているものでございます。そして、その中で特別査察を実施したところ、消防法令の指摘があるものは2施設、指摘件数は5点あったと伺っております。また、詳細については後ほど皆さんのお手元にお配りをしたいと思います。

○ 埼玉新聞 この件についてさらにお伺いしたいんですが、この施設に暮らしていた方が高齢の生活保護受給者が多かったというふうに聞いています。こういった危険性の高い施設に、弱い立場の人が住まざるを得ない状況にある、そういう構造的な問題があると思うんですね。そういう意味では、さいたま市には無料低額宿泊所の問題があって、3年前ですか、2年前ですね、条例がつけられたりしていますが、そういう意味で今回の件を受けて、簡易宿泊所の問題だけではなくて、そういった弱者の方が多く住むであろう施設全般への立ち入りとか指導とか、何か対策を考えていらっしゃるようでしたら教えてください。

○ 市 長 今のご質問にお答えをしたいと思います。一つはやはり無料低額宿泊所の問題については、さいたま市としては法整備がなされていないという環境の中で、それでもそういったものに対応していこうということで、25年10月に「さいたま市被保護者等住居・生活・金銭管理サービス提供の業務の適正化等に関する条例」を施行して、この生活保護受給者、また行政がより適正に行われるような環境づくりをしていこうということで進めてきているわけでありましてけれども、この条例を整備した後、26年度については2事業者に対して、この条例に基づく勧告を行って、是正が図られたというような事例があったりしますけれども、抜本的にはやはりこの条例でもなかなか解決ができていない部分がかなりありますので、この辺について、やはり法の整備が必要であろうと思っております。

そういうことから、さいたま市としても政令指定都市市長会等でこのテーマについても議論させていただいて、国への要望も23年から継続的にさせていただいて、きちんと法律で整備を規制をしていただきたいということの

申し入れ、また要望をさせていただいているところであります。これは、条例があるところとないところと、移動したりとかということも起こり得ますので、全国的に取り組んでいかなければいけない。現状としては、首都近郊のところはかなり多いように思いますけれども、やはり法律でしっかりと規制をしていくべきだと思っておりますので、今後も国への要望をしっかりと行っていきたいと思っております。

- 埼玉新聞      そうしますと、こういった生活の苦しい方が安全な場所で暮らすためには、法整備が必要だというお考えということよろしいですか。
- 市 長          はい。
- 埼玉新聞      わかりました。ありがとうございます。

### その他：東日本連携・創生フォーラムさいたまについて

- 読売新聞      話戻ってしまって恐縮なのですが、新幹線の関連の、沿線の首長を集めた会議についてなんですけれども、現時点で参加というか、当日の出席が決まった首長というか自治体名など、もし現時点でお話しできるのであれば教えてください。
- 市 長          では、担当のほうから。
- 事務局          経済政策課でございますが、今現在のところ15自治体に対してお声かけをしております、7自治体から回答をいただいている次第でございます。
- 読売新聞      その7自治体については、名前というのは、よろしいですか。
- 事務局          もう少しお時間いただき、整理させていただければと思います。

### 議題に対する質問

- 埼玉新聞      済みません、質問がずっと戻ってしまうんですけれども、ヌウストゥデイについてお伺いしたいんですけれども、これはポータルサイトということなんですけれども、スマートフォンバージョンですとか多言語表記ですとかというのは、これはあるのでしょうか。
- 市 長          これは担当から。
- 事務局          シティセールス部でございます。  
スマートフォンに関してはオーケーでございます。多言語化については、これからの課題とさせていただきます。

- 埼玉新聞      あともう一点、地域を盛り上げようと活動している団体の情報をということなんですけど、これは入力というか、例えば私が何かをやっているときに表示してもらいたいなという場合には、何か登録みたいのをするのか、それともあるいはどこかに連絡すると取材をしていただけるのか、どういう形で発信ができるものなんでしょうか。あるいはCMSをこちらにいただけるのか、そういうものなんでしょうか。
- 市長          これは、グループ名で登録をしていただくということで、グループ名、担当者、連絡先、また活動概要をもってグループ登録をしていただいて、その上でIDとパスワードを付与して、直接サイト上に書き込んでいただくということになっております。この窓口は、シティセールス部でございます。
- 埼玉新聞      関連してなんですけれども、市民ひろばですか、これが多分市民グループ交流SNSということなんですけれども、反社会勢力が書き込んだりですとか、シティセールスにふさわしくない文言が書き込まれることもあるかと思うんですけれども、そういったセキュリティに対しての対応というのはどのようなになっているんでしょうか。
- 事務局          シティセールス部でございます。  
登録基準を設けております。主だったものを説明いたします。宗教の教義を広め、儀式、行事を行い、または信者を教化、育成することを目的とするグループと、政治上の主義を推進し、支持し、またはこれに反することを目的とするグループでないこと。特定の公職の候補者、もしくは公職にある者、または政党を推薦し、支持し、またはこれらに反対することを目的とするシステムではないこと、暴力団もしくはその構成員の統制の下にあるグループでないことなど、登録部分の登録基準を設けておりますので、そちらにのっとって判断していきたいと思っております。
- 埼玉新聞      それは、プライバシーポリシーみたいなのがどこかに表示されているということですのでよろしいんですかね。
- 事務局          はい、されております。
- 埼玉新聞      それと、もう一点だけ、最後なんですけれども、地域を紹介するポータルサイトって幾つかこれまでも東部地域をPRするサイトですとか、いろいろ市のサイトがあったと思うんですけれども、これは新しくこのヌウストゥデイに統合されるとか、あるいは既存のサイトとの兼ね合いといいますか、

結構情報がダブる部分ですとか、例えば市で主催しているイベントだったりとか、市のホームページなんかにも同じ情報が載っているかと思うんで、その辺の兼ね合いみたいなものはどうなるんでしょうか。

○ 事務局

シティセールス部でございます。

このサイトは、ほかのサイトと同じように記事が重なることはあると思いますが、このサイトは市の地域を切り口としていくものであって、地域に密着した情報を全て集約して、魅力ある地域生活情報ということをどんどん出していく。本市のシティセールスの手段の一つ考えていますので、さまざまな情報が集まる場所でございます。ですので、当然その中には重なる部分もあると思いますが、あらゆるさいたま市の情報がここに来れば集まるというようなサイトをつくっていきたいと思っております。

以上でございます。

### その他：市内清掃業者の脱税について

○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

きょう一部報道で、岩槻区にある清掃業の会社が脱税していたということで、関東信越国税局が法人税法違反の疑いでさいたま地検に告発していたことがわかったということで報じられています。この業者が、さいたま市の清掃業務といいますか、を請け負っていたという話も出ているんですが、具体的にどういうことをやっていたのかということと、あとこれを受けて、市として何か指導や処分を検討されるのかどうかというのを伺いたいんですが、よろしくお願いします。

○ 市長

まだ、詳細な情報は私どもも把握しておりませんが、現在容疑で告発ということですので、それぞれの状況をしっかりと精査をして、いろんな規定がございますので、その規定に基づいて処分等も含めて対応していくということになるんだろうと思います。詳細な情報について、どういった業務をやっていたかということについては、後ほどまた担当のほうからお知らせするというところでよろしいですか。

(会見後追加：主な業務内容は、一般廃棄物収集運搬業務、側溝清掃業務、浄化槽維持管理業務、河川浚渫・草刈業務等)

- 共同通信      ありがとうございました。  
                  以上をもちまして記者からの質問を終了させていただきます。
- 進    行      以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。  
                  次回の開催は6月4日木曜日、2時からになります。  
                  よろしくお願いいたします。ありがとうございました。  
                  午後2時12分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（    ）とし、下線を付しています。